

第49号

2014年6月

NPO法人麦の会

題字: かまたみさ

〒983-0834 仙台市宮城野区松岡町 17-1 TEL (FAX 兼) 022-299-1279

E-mail muginokai@k5.dion.ne.jp

http://www.muginokai-koppe.com

ご協力をお願い

「フェアトレード原料でクッキーを作り、

障害者の自立へつなげる」プロジェクト

NPO 法人麦の会では、クラウドファンディングサイト READYFOR?で5月30日から「フェアトレード原料でクッキーを作り、障害者の自立へつなげる」というプロジェクトを行っています。

<https://readyfor.jp/projects/muginokai-fairtrade>

*「レディフォー 麦の会」で検索できます

目標金額 30万

期間 5月30日～7月8日(40日間)

*おかげさまで目標金額を達成しましたが、引き続き募集中です。

クラウドファンディングは、インターネットを介して不特定多数の個人から資金(支援金)を集めるサービスです。今回のプロジェクトでは、フェアトレード原料を使ったクッキーを作り、現地の人の自立に貢献するとともに、コッペで働く障害メンバーの給料をアップし、自立へとつなげたいと考えて

います。

コッペでは、障害のある人と一緒にクッキーとパンを作っています。コッペで作っているクッキーの中には、フェアトレードで輸入された原料を使用しているものもあります。これらのクッキーを開発したきっかけは、原料の独特の風味が生かされるのはもちろんですが、いつもは支援される側にいることの多い私たちが、自分たちの技術で逆に少しでも貢献することができるという意味合いも大きいです。

これらのクッキーが広まることで、コッペで働く障害メンバーの給料になるとともに、現地の人たちへの支援にもなります。そのことにより、障害メンバーや現地の人々の自立に少しでも役立てたいと考えています。

支援券は、3,000 円、10,000 円、30,000 円券があり、それぞれ支援して頂いた方に、今回のプロジェクトで制作したクッキー等をお送りします。

おかげさまで現段階 [6 月 5 日] で、目標金額 30 万円を達成しました。ありがとうございます。ただ、このプロジェクトは、目標金額以上になればなるほど、現地の方や障害メンバーの給料アップに、より多く反映されることになることになります。7 月 8 日までの取り組みです。今後ともお手伝いをして頂けると幸いです。

支援券を購入して頂きたいのはもちろんですが、広報にもご協力をお願いします。ご自身が持たれているツイッター・フェイスブック等での拡散、また、ページ内にツイートボタンや facebook いいね！ボタンがあるので、参加してもらえるとありがたいです。

ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

特定非営利活動法人 麦の会 コッペ 飯嶋 茂

| | | | |
|----|----------------------|-------|--------|
| 目次 | ご協力をお願い | 飯嶋 茂 | ・・・1p |
| | 2013 年度活動報告 [総会資料より] | | ・・・3p |
| | とっておきの音楽祭 | 斎藤 七恵 | ・・・8p |
| | 新聞記事より (高橋徳治商店さん) | | ・・・9p |
| | 羽入選手のパレードを見学して | 明石 澄子 | ・・・10p |
| | 本物のヘルパーさん | 阿部 央希 | ・・・11p |
| | 新聞記事より (までえに街今 東仙台編) | | ・・・12p |

2013 年度事業報告

【1】就労継続支援B型「コッペ」の運営状況

① 開設状況

開設日数は、255 日／年、利用者延べ数は、3,283 人となっています。ほぼ昨年と同様です。コッペの定員としては、20 名。在籍は 15 名です。それを支えるスタッフは、常勤 4 名、パート 6 名です。それにコッペショップを支えるメンバーの方々、区役所販売等を手伝っていただけるボランティアの方々等に、コッペの運営に協力して頂きました。土日のイベント販売時には障害メンバーも参加してもらえるとありがたいです。

② 売り上げ

パンとクッキーの売り上げは、約 2,260 万／年（仕入れ販売 200 万を含む）、月平均 188 万となっています。2012 年度の売り上げに比べ 230 万／年ダウンしました。2012 年度よりさらに震災関連の注文が減ったこともあり、震災前の水準に戻りました。注文の多い月と少ない月の差も大きく、それに対して有効な対策が打てていないのが現状です。働いているメンバーの技術水準は着実に上がっていて、生産能力はあがっています。その分、注文が少ない月は、みんなに回す作業がたりなくなってしまうのが現状です。

③ 訓練等給付費収入

2013 年度は 2,160 万円ほどとなりました。前年度により 90 万ほど上がっています。参考に過去 10 年間の売り上げ、公的助成金、収支を載せます。

| 年度 | 売上 | 公的助成金 | 収支 | 備考 |
|------|------------|------------|----------------|-------------------|
| 2013 | 22,698,052 | 21,676,537 | 1,400,468 | |
| 2012 | 25,025,775 | 20,715,660 | △ 1,178,745 | |
| 2011 | 29,058,926 | 20,140,153 | 5,904,907 | |
| 2010 | 20,559,310 | 17,776,329 | 196,517 | |
| 2009 | 22,196,957 | 16,590,171 | △936,624 | |
| 2008 | 22,998,843 | 12,662,037 | 1,432,715 | |
| 2007 | 20,166,317 | 10,582,531 | △460,757 | 就労継続支援 B 型 へ移行 |
| 2006 | 20,523,122 | 9,607,000 | 403,146 | 仙台市助成金 |

こうしてみると、震災時を除いて考えると、売り上げはほぼ横ばいです。それに対して、就労継続支援 B 型に移行したことで、公的な助成金（訓練等給付

費)は、仙台市の助成金で運営していた 2006 年に比べると倍以上になっています。このままいくと、売り上げより、助成金収入が多くなることも考えられます。

今年度の収支は、特定求職者雇用開発助成金等の助成金もあり、140 万のプラスになっています。

④ 工賃

障害メンバーの給料は、最高で 76,000 円最低 33,000 円、平均約 51,000 円となっています。昨年よりも若干あがっています。

参考までに、県内就労継続支援 B 型の平均工賃は、約 17,000 円です。

⑤ コッペショップ

発送が増えたクッキーに対して、パンは震災の影響もあり卸先が減りました。そのためパンに関しては売上の中でもショップが重要な位置をしめています。春・秋のセールの他、バレンタイン・ホワイトデーセール等も行いました。

パンでは、コッペにいちごジャム・ピーナツクリームをはさんだ新商品も出しました。

また、飲食店営業（調理パンに限る）の許可も取り、惣菜パンの製造も行える体制を整えました。

⑥ ホームページの作成

一昨年新しくしたホームページは、以前に比べれば、問い合わせも多くなりました。しかし、ツイッター等の活用はほとんどできていません。

⑦ 放射能検査

ヘルシーハットみんなをつなぐ検査室に 1~2 か月に 2 種類ずつ検査に出しました。検出限界は 10 ベクレルでいずれも不検出となっています。小麦の切り替え時期には、検出限界がさらに低い検査にも出して安全性を確かめています。今後も定期的に検査に出し、安全性を確かめます。

原発に対しては、食品の安全という面でも反対の運動に協力していきます。

⑧ 研修

大雪の翌日でしたが、衛生管理について、高橋徳治商店さんを見学しました。高橋徳治商店さんは、練り製品の会社です。石巻にあった工場が被災し、このたび東松島に新工場を建設されました。衛生管理では全国トップクラスの事業所です。規模は全く違いますが、設備はもちろん、取り組む姿勢もすごいです。それぞれ得るものがあったと思います。

⑨ レクリエーション

コッペとしては珍しいことに多く行いました。

一泊旅行 9月27日(金)・28日(土) ハイルザーム栗駒

11月2日 NPO法人桑の木との合同バーベキュー会

12月1日 いちえさん食事会&忘年会(カラオケまねき猫)

1月25日(土) すみかわスノーパーク樹氷めぐり

⑩ その他

7月31日(水)、仙台市実施指導がありました。コッペに関しては大きな問題はありませんでした。しかし、仙台市では、不正受給を行っていた事業者が2か所あり、一つは事業の停止、もう一つも停止予定です。公的な助成を頂いている自覚を持ち、適正な運営に努めます。

【2】雇用関係について

現在のコッペの収支では、全員と雇用関係を結ぶことは難しいため、就労継続支援B型のみで、出来る人から雇用を結ぼうという方向で今年も進めました。

条件を改めて確認します。以下の満たす人で、希望する人と雇用関係を結ぶことにしました。

- ① 8年目以上
- ② 20時間以上の勤務時間
- ③ 最低賃金の減額申請はする
- ④ 社会保険はかけない
- ⑤ 中退金は6000円でかける

その結果、新しく1名と新たに雇用関係を結びました。

【3】理事会

計9回行いました。コッペでは、みんなで運営を考えていこうというスタンスで、理事

会には都合がつく限りみんなに参加してもらっています。しかし、最近参加する人が限られてきています。もちろん強制はできませんし、仕方のないことなのかなとも思いますが、麦の会は大きな組織ではありません。色々な人に支えられているということが、組織を維持していくための大きなモチベーションです。理事会に出席するというのもその一つです。出来るだけ多くの人の参加をお願いします。

【4】会員(3/31現在)

正会員 22名 賛助会員 120名 計144名

(正会員6名減、賛助会員32名増)

税の優遇措置がとられる認定NPO法人の基準が緩和されました。その条件の一つである賛助会員の増加をお願いした結果、大幅に賛助会員が増加しました。目安となる100名を超しましたが、本認定には、過去2年にわたり100名以上の寄付者がいることが条件です。安定して条件をクリアするためにはさらに会員の増加が必要です。また、現実的に会費収入も大きくなりました。会員皆さんの声掛けを改めてお願いしますし、コッペ通っている障害メンバーは全員賛助会員になることも再度お願いします。

なお、サポーター会員40名（1名増）です。

なお、認定NPO法人の申請は、10月・相談、11月・書類の整備、12月・相談、1月・申請という工程表で行う予定でしたが、今年度中の申請はできませんでした。（仮認定は、2015年3月までは申請できる。）

【5】社会教育の推進

会報「麦の穂」の発行 計3回 それぞれ170部前後

2013年 6月 12月 2014年 3月

賛助会員の確保のためにも会報は大切です。しっかり定期的に発行したいと思います。

【6】生活支援

就労の事だけではなく、生活支援についても考えたいとの声を受け、まずは、コッペの中でヘルパーを利用している人のお話を聞くことから始めました。今年度は具体的なことはできませんでしたが、ヘルパーを利用している人は増えました。

【7】共同連全国研修会について

4月20日・21日もNPO法人共同連の全国研修会を行いました。

4月20日（土）は、南三陸町に行き、のぞみ福祉作業所の見学と被災地障がい者センター南三陸（現NPO法人奏海の杜）の方のお話を聞きました。翌21日（日）は、映画「逃げ遅れる人々」の上映を行いました。21日は出勤日として、コッペのメンバーもできるだけ参加しました。

【8】NPO法人フルハウスとの連携

コッペの直接の運営母体は麦の会であるが、障害者自立支援法上は、NPO法人フルハウスが運営する形になっており、訓練等給付もフルハウスを通じて入ってくる仕組みとなっています。

当然のことながら、NPO法人フルハウスを構成するフリースペースソレイユとフルハウスグループの一員として協力しています。

ソレイユとは今後も月1回のフルハウスの会議の他、ソレイユ祭りへの参加、

合同学習会の開催、互いの商品の販売等、今後も連携を深めていきたいと思いません。

【9】他団体との連携（抜粋）

①あがいんチーム

衛生管理、品質管理、生産管理等を中心に他の事業所と共同で研修会を行ってきました。（参加した事業所は、フリーソレイユ・すまいる作業所・グループゆう・仙台もぐらの家・わはわ遠見塚・わはわ美里・わはわ味明・コッペ）

その成果である5つの事業所の商品のセット商品である「あがいんセット」は、東京の横河電機株式会社の株主総会での株主さんへの手土産として200セット採用されました。

今年度もはばたけファンドを活用し研修を行い、「あがいんセット」もリニューアルしました。

③ みやぎアピール大行動

障害者自立支援法の成立を契機に県内の団体で結成しました。障害種別の枠を超えてより良い制度の実現を目指し活動しています。

この間設けられていた、障がい者制度改革推進会議は、制度改革に向けた提言をまとめましたが、最終的には厚労省により骨抜きにされ、障害者自立支援法は一部が改正された形で、障害者総合支援法と名前を変えただけにとどまっています。

今後もアピール大行動の一員として活動をしていく必要があります。

⑥ 条例の会

仙台市に差別禁止条例を作ろうと活動しています。障害者差別解消法の成立を受け、仙台市としても条例の制定に前向きな姿勢を示しており、私たちの思いを同条例に反映させていくのかが問われています。

その他

ネグロスクッキーの原料のマスコバド糖を仕入れている、NPO法人 APLA（オルタートレードジャパン）から、フィリピン台風30号被災者支援、ボホール島地震被災者支援募金の協力のお願いが届き、皆さんからの募金も合わせ、麦の会として支援金を送りました。

~~~~~  
とっておきの音楽祭

♪ 本番はすごく暑かった

♪ です。私はせんだい組の  
みんなと歌ったりおどったり

しました。目の前に知ってる人  
がいて、少しはずかしかった  
けどすごく嬉しかったです。

私が歌ったのは、ゆずの「雨のち晴  
れるや」と嵐の「ふるさと」です。

最後におどって終わりました。

今年のとっておきの音楽祭ももう  
早いと終わってしまいました!

凄く楽しめて、知ってる人にも沢山会えて  
本当に嬉しかったです。



妖怪ウチガジバにゃん♡

齋藤 七恵♡

2月に見学に行った高橋徳治商店さんの記事です。

思いがこもっていますよね。

# 震災の記憶「人」形記念碑

石巻市の水産加工会社（全員約1万6500人）工場、同市魚町の第二工場、高橋徳治商店は、東日本の支援金を差に制作した。震災後は本大震災の記憶をとどめるモノUMENTを東松島市大塩の工場に設置した。取引がある横浜市の福祉クラブ生活協同組合川口町の本社工場と冷凍



（左）東松島市の水産加工会社で震災の記憶をとどめるモノUMENTの設置式が行われた。

5/20 河元

## 石巻・被災水産加工会社

### 解体社屋の鉄骨を活用

10月に一部ラインが復旧し生産再開。13年夏には東松島市に新工場を稼働させた。

モノUMENTは解体した本社工場、冷凍工場、第二工場の鉄骨4本をそのまま使い「人」の字をかたどった。大きい

#### 東松島の新工場に設置

ものは高さ約7m、小さいものは約5mある。モノUMENTのそばには、ボランティアが使ったスコップや一輪車、発電機などを納めた強化ガラス製のピラミッド形パネルを設置。本社の門柱も移設した。

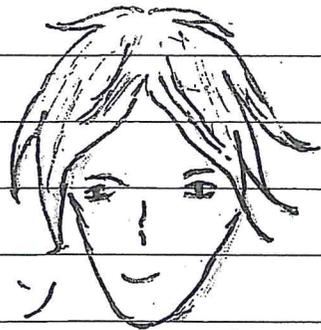
前で行われ、福祉クラブ生協の荒川啓子副理事長が高橋英雄社長に目録を手渡した。支援金は12年11月から1年間のカンパで、約98万円が集まった。荒川副理事長は「モノUMENTからは音境を乗り越えた大きさが伝わってくる。被災地の企業との取引を広げるなど、今後継続して支援したい」と話した。

「モノUMENTは「人」の形をかたどった。大きいものは高さ約7m、小さいものは約5mある。モノUMENTのそばには、ボランティアが使ったスコップや一輪車、発電機などを納めた強化ガラス製のピラミッド形パネルを設置。本社の門柱も移設した。

羽生選手のパレードを見学して

明石澄子

4月26日 私はヘルパーさんと  
羽生選手のパレードを見に行きま  
した。着いてから、早めに昼食を食  
べて、1時前から並んで、時計とに  
らめっこしてたら、ヘルパーさんか  
「だいじょうぶだよ。」と言ってくれたので、  
少し安心しました。そして、1時半  
過ぎ、ついにその時がやって来  
ました。音楽が聞こえて、みんなが  
根立ちになったので、私も、ありっ  
たけ声を出して「羽生くん」とさけ  
んでしまいました。今まで、テレビで  
しか見れなかったけど、今回は  
生で、しかも目の前で見れて  
ラッキーでした。



YVZURUワン  
サイコーッ

(本物のヘルパーさん)

僕はヘルパーさんといろんな勉強を  
賞えるように行く時はヘルパーさんの  
言うとおりに聞いて自分の行く場所を  
選んで「ヘルパー」さんと一糸者になる事  
を自分の希望はあります。僕もヘルパー  
さんと行く事決めました。い、かりと  
いろんな体験あるし毎日行く事を  
希望を持って自分の行きたい道です。

阿部 央希

いつもお世話になってます。

紹介されました。

①和菜所 いちえ

和食が看板の店。安藤亮一さん(58)=写真中央=、としえさん(58)=写真左から2人目=夫妻が営む。

とし4月、オープン5周年を迎えた。店名は2人の名前になみ、家庭の台所のような気軽な空間を目指す意味で「和菜所」とした。

4月から毎月第1土曜は、東仙台の新名物候補「東仙台牛タン」を使った「塩釜焼き風 東仙台牛タンランチ」(1000円)を限定10食提供している。次回は7日。

「地区に名物が欲しい」との声を受け、地元の東部市民センターを拠点に活動する食育サポーター「もぐもぐ」のメンバー

がレシピを開発した。塩と卵白で包んで蒸し焼く「塩釜焼き」を採り入れたのが特徴だ。

既に2回あった牛タンランチの日は、その日を目掛けて訪れた客でにぎわった。「柔らかく

て食べやすい」と評判は上々だ。

亮一さんは「牛タンはあくまでも活性化へのきっかけ。地域の魅力を広く発信し、迎える側も一体感を育んでいきたいですね」とほほ笑む。



⑤NPO法人麦の会「コッペ」

国産小麦で作るパンとクッキーの店。隣接の作業場で作り、店頭並べているほか、地元生協などにも卸している。

障害のある人もない人も一緒に働ける場として1988年にオープンした。代表の飯嶋茂さん(50)=写真左端=は「東仙台で25年以上続けてきて、どんな店なのか説明しなくてもよくなりました。障害者が街にいたことが当たり前風景になったことは大きいですね」と歩みをかみしめる。

現在は障害がある人が15人、健常者は常勤・パート合わせて8人が働き、さらにボランティア10人がサポートする。粉をこ

ねて成形し、オーブンで焼いて袋に詰め、出荷・販売するという工程を、障害の程度に応じて助け合いながら進めている。

小麦やバターなどの原材料は添加物や農薬を使っていないものを厳選。効率を優先する社会

は障害者差別にも通じる危うさが潜むと考えるからだ。

飯嶋さんは「次なる課題は生活全般や余暇の支援。グループホームの運営など、他団体とも連携して取り組みたい」と意気込む。



「までえに銜いま」は、ブログでもっと詳しく読めます。

[https://kacco.kahoku.co.jp/author/y\\_machi](https://kacco.kahoku.co.jp/author/y_machi)

「までえに銜いま」取材班

石田浩司、大泉大介、菊地弘志、矢嶋哲也